



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校
平成30年度12月号

人権について考えよう！

校長 松本浩一

12月は「師走（しわす）」と言われています。「師走」とは、「坊さんが忙しく走り回る」「師匠が忙しく走り回る」「漁師が忙しく走り回る」など諸説あるようですが、いずれにしても普段よりも慌ただしく走り回り、仕事を残さず年内中にやり終えるということのようです。

さて、12月4日（火）から10日（月）まで人権週間でした。尾張旭市では、更なる人権尊重の精神を培うため、11月22日（木）から12月21日（金）までを「人権月間」として取り組んでいます。



「人権」とは、人としての権利だということはわかっていると思います。

人間として生きる権利についてこの機会に考えてみてください。身の回りを見たとき、知らず知らずのうちに、友達の人権を傷つけてしまっていることはありませんか。自分の人権が傷つけられていると思うときはありませんか。それを判断する簡単な方法は、自分がされたら嫌なことなのかを考えてみることです。普段の生活の中では、「人のいやがることをしない」「自分がされたらどう感じるか」を頭に浮かべ、発する言葉や

行動の物差しにできれば大きく外れることはありません。

しかし、時に人は簡単に心のハードルを下げてしまい、規範意識や相手の気持ちを考えない低いところに跳んでしまうことがあります。跳んでしまった理由を「自分だけじゃない」「相手が悪い。だから許される」としがちですが、本当にそうでしょうか。いったん下げたハードルはなかなか元に戻しづらいものです。

家族のこと、友だちのこと、地域で会う人たちのこと、近くで悩んでいる人のこと、そして遠くで苦しんでいる人のことにも、この「人権月間」を機会に向き合ってほしいと思います。

「己の欲せざる所は人に施す勿れ（おのれのほっせざるところはひとにほどこすなかれ）」という孔子のことばがあります。自分がして欲しくないと思うことは、他人にとっても同じなのだから、他人にすべきではないという意味です。

何事も相手の身になって考える「人権」を意識してほしいと思います。

学校閉校日のお知らせ

冬季休業中の12月28日（金）と1月4日（金）は学校閉校日となります。学校への電話は通じませんので、緊急の場合は、市役所教育行政課におかけください。

【市役所教育行政課】

TEL 0561-76-8178

夢と絆の講演会 感想

最初は「講演会なんて面倒くさいな～。眠そうだな～」と思っていたけど、ちゃんと聞いているとすごいことを話していて、前からこういう話を聞きたいなと思っていました。ゴミ捨て場で暮らしている人たちは、貧しいのにいつも笑顔で明るくて、親を尊敬していてすごいなと思いました。でも、小さな子たちが親と別れるのを見るとすごく辛くなりました。もう一生親に会えないということはどれだけ辛いのか、泣いている子たちの姿や病気で死んでしまう子どもたちのお母さんの姿を見て、自分も辛くなって泣きそうになりました。池間さんが言っていた「最大のボランティアは一生懸命生きること！」という言葉聞いて頑張ろうと思いました。（1年生 女子）

今回の講演で自分たちの暮らしの豊かさと外国の厳しい環境を学ぶことができました。多くの地域や国で学校に行けなくてご飯をまともに食べられず死んでしまうなんて、日本では考えられません。池間さんがこれまでどのような努力をされてきたかは映像を見て分かります。学校が新しくなって喜んだり、生きるという希望を見つたり、水を飲めるようにしたりと素晴らしいことをされている方だと思います。しっかり感謝して暮らしていくようにしたいです。（2年生 男子）

今日の講演を聞いて、改めて自分たちは恵まれた環境にいるのだなと思いました。いやいややっている勉強も他の国の子たちは勉強したいのにできないと考えると、とても申し訳なく思いました。他にもきれいな水が使えること、美味しいご飯が毎日三食あること、そしてご飯を「嫌だから」といって残してしまうこと、家族と毎日会えて話せて甘えられて、それなのに両親に当たってしまうことなど、なんて自分はわがままに生きていたのだろうと思いました。これからはすべての物事に感謝しながら生きていきたいと思いました。（3年 女子）

講演会を終えた後の生徒の感想の一部です。11月16日（金）に体育館に全校生徒・全職員が集まり「夢と絆の講演会」を行いました。この講演会は、『実体験をもとに生の話を聴く中で、夢を諦めないことの大切さや目標に向かって努力しようとする気持ちを高めたり、生きることの素晴らしさや大切さを実感させたりすること』をねらいとして10年近く続けているものです。今回は、アジアの発展途上国の貧困地域のサポートをしたり、国内の震災地域の支援をしたりしている池間哲郎さんをお招きし、「懸命に生きる人々～日本人こそ学んでほしい～」という演題で講演をしていただきました。様々な映像を交えながら、自分の眼で見てきたこと、中学生の子どもたちに知ってほしいこと・考えてほしいことなどについて90分間話をしていただきました。上に紹介した生徒の感想からも分かるように、子どもたちはまっすぐに前を向き、真剣に話を聞き、池間さんの話をしっかりと心で受け止めていました。感想には「今の生活が当たり前ではない」「これから感謝の気持ちをもって生活したい」といった言葉を多く見ることができました。講演を聴いて、感じたことを心にとめ、これからの生活を送ってほしいと思います。

教務主任 寺田泰次郎